

令和4年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年5月13日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 コード番号 6061 URL <http://www.uni-green.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 令和4年5月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 安部 豪
 (氏名) 野呂 千佳子
 TEL 072-649-2266

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年6月期第3四半期の連結業績(令和3年7月1日～令和4年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年6月期第3四半期	8,327	21.7	1,413	54.8	1,478	56.5	1,041	52.8
3年6月期第3四半期	6,840	2.2	912	0.9	944	0.1	681	2.9

(注) 包括利益 4年6月期第3四半期 1,053百万円 (58.2%) 3年6月期第3四半期 665百万円 (6.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年6月期第3四半期	216.91	
3年6月期第3四半期	141.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年6月期第3四半期	10,796	8,899	82.4
3年6月期	9,840	8,060	81.9

(参考) 自己資本 4年6月期第3四半期 8,899百万円 3年6月期 8,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年6月期		0.00		20.00	20.00
4年6月期		0.00			
4年6月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年6月期の連結業績予想(令和3年7月1日～令和4年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,009	15.1	1,603	24.0	1,641	22.4	1,136	55.1	236.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年6月期3Q	5,025,000 株	3年6月期	5,025,000 株
期末自己株式数	4年6月期3Q	270,614 株	3年6月期	220,589 株
期中平均株式数(四半期累計)	4年6月期3Q	4,802,753 株	3年6月期3Q	4,804,411 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競争状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予測に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策により経済社会活動が正常化の動きが見られ、経済の回復が期待されるものの、上海の新型コロナウイルス感染症対策によるロックダウン、半導体製品等の供給制約、ロシア連邦のウクライナ侵攻等による原材料価格の高騰等、景気の動向は先行き不透明な状況で推移しております。このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に注力し、レンタルグリーンの売上は順調に推移しております。通信販売、園芸雑貨店といった個人向け需要は継続して、順調に推移しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,327,594千円（前年同四半期比21.7%増）、営業利益は1,413,304千円（同54.8%増）、経常利益は1,478,425千円（同56.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,041,763千円（同52.8%増）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

各セグメントの経営成績の数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、レンタルグリーンの売上が順調に推移しており、増収増益となりました。ただし、海外において上海では3月末に始まった新型コロナウイルス感染症対策によるロックダウンにより、先行き不安定な状況にあります。

以上の結果、当セグメントの売上高は5,723,855千円（前年同四半期比23.1%増）、営業利益は1,174,104千円（同60.4%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは23.6%（前年同四半期20.8%）、関西エリアは25.6%（同22.7%）、海外エリアは7.7%（同△5.5%）となりました。

〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、引き続き植物への需要が高く順調に推移しており、増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は999,877千円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は90,876千円（同39.8%増）となりました。

〔小売事業〕

小売事業につきましては、引き続き個人向けの植物への需要が高く通信販売は順調に推移しております。尚、ガーデンセンターやグリーンショップ、フラワーショップ、ネットショップ等の小売事業は、「母の日」や季節的要因により第4四半期が最も繁忙期となります。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,891,393千円（前年同四半期比20.4%増）、営業利益は117,161千円（同51.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は10,796,622千円となり、前連結会計年度末に比べ956,181千円の増加（9.7%増）となりました。

このうち流動資産は6,472,514千円となり、前連結会計年度末に比べて875,010千円の増加（15.6%増）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が299,647千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は4,324,107千円となり、前連結会計年度末に比べて81,170千円の増加（1.9%増）となりました。これは主に、有形固定資産が149,599千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,896,921千円となり、前連結会計年度末に比べて116,806千円の増加（6.6%増）となりました。これは主に、買掛金が110,839千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,899,701千円となり、前連結会計年度末に比べて839,375千円の増加（10.4%増）となりました。これは主に、利益剰余金が945,675千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、令和4年2月14日に発表した連結予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和3年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,112,456	4,496,670
受取手形及び売掛金	1,019,240	1,318,888
商品及び製品	332,148	406,117
原材料及び貯蔵品	1,691	1,670
その他	147,850	265,399
貸倒引当金	△15,883	△16,231
流動資産合計	5,597,503	6,472,514
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,187,578	1,188,578
その他	2,759,037	3,010,724
減価償却累計額	△1,597,762	△1,700,849
その他（純額）	1,161,274	1,309,874
有形固定資産合計	2,348,853	2,498,453
無形固定資産		
のれん	321,016	301,833
その他	59,871	73,061
無形固定資産合計	380,888	374,895
投資その他の資産		
投資有価証券	402,631	301,681
繰延税金資産	277,468	283,639
投資不動産	520,194	520,194
減価償却累計額	△138,983	△145,275
投資不動産（純額）	381,210	374,918
その他	452,779	491,413
貸倒引当金	△895	△895
投資その他の資産合計	1,513,195	1,450,758
固定資産合計	4,242,936	4,324,107
資産合計	9,840,440	10,796,622

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和3年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	356,656	467,495
1年内返済予定の長期借入金	3,218	344
未払法人税等	282,804	218,570
賞与引当金	4,369	56,928
その他	607,799	603,740
流動負債合計	1,254,848	1,347,079
固定負債		
退職給付に係る負債	220,072	229,800
長期末払金	225,971	226,543
その他	79,220	93,498
固定負債合計	525,265	549,841
負債合計	1,780,114	1,896,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	8,011,554	8,957,230
自己株式	△154,225	△271,876
株主資本合計	8,152,587	8,980,612
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△92,261	△81,406
その他の包括利益累計額合計	△92,261	△81,406
非支配株主持分	—	495
純資産合計	8,060,326	8,899,701
負債純資産合計	9,840,440	10,796,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年7月1日 至 令和3年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年7月1日 至 令和4年3月31日)
売上高	6,840,464	8,327,594
売上原価	2,649,735	3,182,699
売上総利益	4,190,728	5,144,895
販売費及び一般管理費	3,277,745	3,731,590
営業利益	912,983	1,413,304
営業外収益		
受取利息	5,298	5,945
受取配当金	0	2
投資不動産賃貸料	25,824	25,757
為替差益	7,937	29,835
その他	20,457	20,605
営業外収益合計	59,518	82,146
営業外費用		
支払利息	1,664	2,493
不動産賃貸原価	19,163	11,344
その他	6,783	3,187
営業外費用合計	27,610	17,025
経常利益	944,890	1,478,425
特別利益		
負ののれん発生益	42,347	—
特別利益合計	42,347	—
特別損失		
投資有価証券評価損	1,345	—
特別損失合計	1,345	—
税金等調整前四半期純利益	985,892	1,478,425
法人税等	307,584	436,080
四半期純利益	678,308	1,042,344
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,289	581
親会社株主に帰属する四半期純利益	681,597	1,041,763

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年7月1日 至 令和3年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年7月1日 至 令和4年3月31日)
四半期純利益	678,308	1,042,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,017	—
為替換算調整勘定	△13,785	10,768
その他の包括利益合計	△12,767	10,768
四半期包括利益	665,540	1,053,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	668,998	1,052,618
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,457	495

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積りへの影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 令和2年7月1日 至 令和3年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	2,227,249	1,414,644	1,001,330	4,643,225	626,845	1,570,393	6,840,464	—	6,840,464
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,524	2,328	—	7,853	281,866	861	290,580	△290,580	—
計	2,232,774	1,416,973	1,001,330	4,651,078	908,711	1,571,254	7,131,044	△290,580	6,840,464
セグメント利益（△は損失）	464,370	322,239	△54,613	731,996	65,008	77,168	874,173	38,809	912,983

(注) 1 セグメント利益の調整額38,809千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

グリーン事業において、株式会社小林ナーセリーが植木、花卉及び種苗の生産、販売等の事業を譲り受けたことに伴い、負ののれん発生益42,347千円を計上しております。また、負ののれん発生益の金額は、「注記事項（企業結合等関係）」に記載のとおり、暫定的な会計処理の確定に伴う修正はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 令和3年7月1日 至 令和4年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
レンタルグリーン	1,257,242	755,578	547,313	2,560,133	—	—	2,560,133	—	2,560,133
グリーンサービス	1,607,169	784,198	754,886	3,146,254	—	—	3,146,254	—	3,146,254
卸売	—	—	—	—	730,548	—	730,548	—	730,548
小売	—	—	—	—	—	1,890,657	1,890,657	—	1,890,657
顧客との契約から生じる収益	2,864,411	1,539,776	1,302,200	5,706,388	730,548	1,890,657	8,327,594	—	8,327,594
外部顧客への売上高	2,864,411	1,539,776	1,302,200	5,706,388	730,548	1,890,657	8,327,594	—	8,327,594
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,921	545	—	17,466	269,329	736	287,532	△287,532	—
計	2,881,333	1,540,322	1,302,200	5,723,855	999,877	1,891,393	8,615,126	△287,532	8,327,594
セグメント利益（△は損失）	680,092	394,119	99,893	1,174,104	90,876	117,161	1,382,142	31,161	1,413,304

(注) 1 セグメント利益の調整額31,161千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する情報

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「(会計方針の変更) (収益認識に関する会計基準等の適用)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。なお、当第3四半期連結累計期間に係る各数値に与える影響はありません。

（企業結合等関係）

比較情報における取得原価の当初配分額の見直し

令和2年7月31日に行われた株式会社小林ナーセリーからの事業譲受について、前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

なお、負ののれん発生益の金額42,347千円に修正はありません。